

学習したことを生かして

「モチモチの木」

斎藤

隆介

めあて

読書発表会をする計画を立てよう

学習計画表

一	おくびょう豆太 の場面
二	やい、木い の場面
三	霜月二十日のばん の場面 <small>しもつき</small>
四	豆太は見た の場面
五	弱虫でも、やさしけりゃ の場面
六	読書発表会

漢数字は学習する順番です。「豆太は見た」の場面は、二時間に分けて学習する計画です。読書発表会の前には準備の時間も必要です。

2 / 16 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

課題を解決するための学習計画を話し合わせ、学習の見通しをもつことができるようにする。

1 本単元の学習課題を確認する。

モチモチの木を読んで、読書発表会をしよう

2 課題を解決するための学習について話し合う。

【発問】今までの物語文の学習でどんなことをしましたか。

学習の見通しをもつ。

これまでの物語文の学習での経験を思い出させることで見通しをもたせたい。学習計画を立てる。

教科書で分けられている五つの場面ごとに読み取っていく計画を、児童と共に立てていく。

* 児童の実態を考慮して、学習計画は教師主導で進めてもよいと思います。

3 話し合ったことを整理して、学習計画表に書き込む。

4 本時を振り返り、次時は「おくびょう豆太」の場面を読み取っていくことを確認する。

評価 学習計画について進んで話し合い、学習の見通しを計画表に書くことができる。